

アルビクス・マルチビューワ (MV-412HD / 416HD) Rev 00

概 要 / 特 長

1. アルビクス・マルチビューワは、SDI信号を入力し、プロジェクタ、液晶やPDPなどの高解像度モニタに分割表示することができます。
2. HD-SDI (1080i) 出力が可能なので、高画質デジタル信号の伝送が可能です。また、デュアルリンクHD-SDI (1080p) での伝送も可能です。
3. 入力は、SD / HD-SDI (自動判別) です。
DVI基板を実装することにより、DVI基板1枚あたり2系統のDVIを入力可能です。
4. 10種のサイズより子画面を構成できます。(混合可能)
また、オーバースキャン / アンダースキャン、枠の有 / 無しを子画面毎に設定可能です。
5. 背景メモリを2面有し、1面を選択し背景として表示可能です。
背景は、静止画JPEG サイズ1920×1080 フルカラーとなります。
6. プリセットは16個有り、画面構成を16面分保存出来ます。
7. 筐体は、2Uでコンパクトです。電源はリダントでフロントメンテナンス。
8. 外部制御はLAN インターフェイスを装備しています。
9. 専用コントロールソフトで全ての設定が可能です。

仕 様

< 入出力基板 >

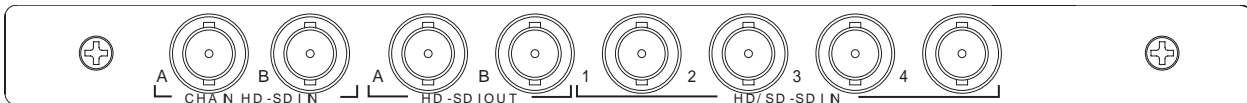
入力されたSDI信号をスケーリングし、1080p画像領域の任意の位置に配置する機能を持ちます。

出力はデュアルリンクHD-SDIであり、次段のボードへチェインされてゆきます。

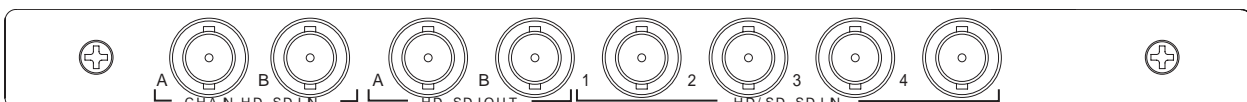
- 入力信号 : SD / HD-SDI
- 入力信号コネクタ : BNC
- 出力信号数 : 2ch
- 出力信号 : デュアルリンクHD-SDI 1系統
- 出力信号コネクタ : BNC × 2
- チェイン信号入力 : HD-SDI (1080p デュアルリンク) BNC × 2
筐体外での接続となります。

入出力基板には、次の3つの仕様があります。

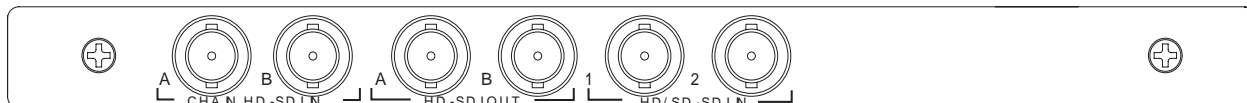
	名称	入力チャンネル数	外部制御I / F	文字、画像合成
1	I / O-4C	4	あり	あり
2	I / O-4	4	なし	なし
3	I / O-2	2	なし	なし



I / O-4C 基板 コネクタ配列



I / O-4 基板 コネクタ配列



I / O-2 基板 コネクタ配列

背景合成

PCで作成した画像データ(JPEG)を本体にFTP転送し、出力映像に背景として合成します。フルカラー画像データを取り扱えますので、多彩な表現が可能です。

画面サイズ

スケーリングを行った後の表示サイズは1920×1080の画像領域に対して次のサイズから選択設定することができます。また、その表示位置は任意に設定できます。

16 : 9 画像入力時 (HD - SDI または SD - SDI スクイーズ)

	画面サイズ設定	水平サイズ(dot)	垂直サイズ(line)
0	1 / 1 (100%)	1920	1080
1	4 / 5 (80.0%)	1536	864
2	3 / 4 (75.0%)	1440	810
3	2 / 3 (66.7%)	1280	720
4	3 / 5 (60.0%)	1152	648
5	1 / 2 (50.0%)	960	540
6	2 / 5 (40.0%)	768	432
7	1 / 3 (33.3%)	640	360
8	1 / 4 (25.0%)	480	270
9	1 / 5 (20.0%)	384	216
10	1 / 5.3 (18.8%)	360	202
11	3 / 20 (15.0%)	288	162

4 : 3 画像入力時 (SD - SDI)

	画面サイズ設定	水平サイズ(dot)	垂直サイズ(line)
0	1 / 1 (100%)	1440	1080
1	4 / 5 (80.0%)	1152	864
2	3 / 4 (75.0%)	1080	810
3	2 / 3 (66.7%)	960	720
4	3 / 5 (60.0%)	864	648
5	1 / 2 (50.0%)	720	540
6	2 / 5 (40.0%)	576	432
7	1 / 3 (33.3%)	480	360
8	1 / 4 (25.0%)	360	270
9	1 / 5 (20.0%)	288	216
10	1 / 5.3 (18.8%)	270	202
11	3 / 20 (15.0%)	216	162

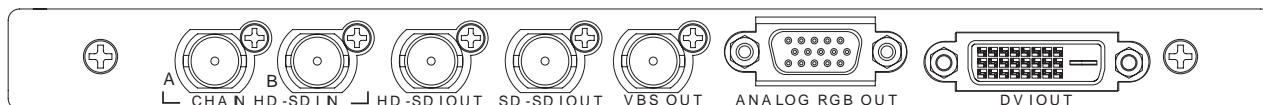
モニター表示イメージ (出力 : 4 : 3 モニター)



<出力基板>

入出力基板で合成処理されたHD - SDIデュアルリンク信号をスキャンコンバートし、アナログRGBやDVI、SD - SDIなどの信号形式で出力する機能を持ちます。

- チェーン信号入力 : HD - SDI (1080pデュアルリンク) BNC × 2
筐体外での接続となります。
- HD - SDI出力 : チェイン入力のA chのバッファスルー BNC × 1
- アナログRGB出力 : R, G, B, H, V D-sub 15ピン (VGAコネクタ) × 1
- DVIデジタル出力信号 : TMDS信号 DVI - Dコネクタ × 1 *デジタル信号のみ



OUT (出力) 基板 コネクタ配列

アナログRGB / DVI出力解像度 (有効画像領域)

	名称	H Disp(dot)	V Disp(line)	縦横比
1	1080p	1920	1080	16:9
2	WSXGA+	1680	945	16:9
3	WXGA	1280	720	16:9
4	UXGA	1600	1200	4:3
5	SXGA+	1400	1050	4:3
6	SXGA	1280	960	4:3
7	XGA	1024	768	4:3

SD - SDI [D1]出力 : 出力画像のダウンコンバート信号 BNC × 1

アナログVBS出力 : 出力画像のダウンコンバート信号 BNC × 1

SD - SDI / アナログVBSの表示方式

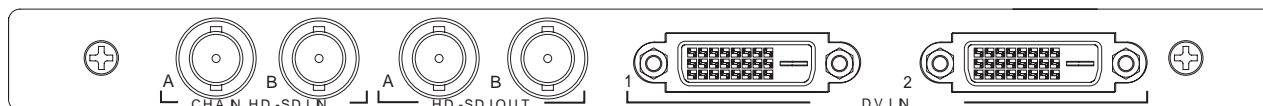
	モニタ縦横比設定	アナログRGB DVI出力の縦横比	表示方式
1	16:9	16:9	スクイーズ
2	16:9	4:3	サイドパネル付加
3	4:3	16:9	レターボックス
4	4:3	4:3	フル

<DVI入力基板>

入力されたDVI信号をスケーリングし、1080p画像領域の任意の位置に配置する機能を持ちます。

出力はデュアルリンクHD - SDIであり、次段のボードへチェーンされてゆきます。

- 入力信号 : TMDS
- 入力信号コネクタ : DVI - D (2系統)
- 出力信号数 : 2 ch
- 出力信号 : デュアルリンクHD - SDI 1系統
- 出力信号コネクタ : BNC × 2
- チェーン信号入力 : HD - SDI (1080pデュアルリンク) BNC × 2



DVI基板

< 時計基板 >

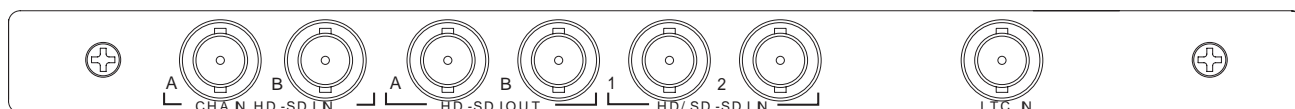
入力された L T C 信号を時計画像に変換し、1080p 画像領域の任意の位置とサイズに配置する機能を持ちます。

時計画像は、アナログ時計とデジタル時計表示が可能。

I / O - 2 に時計基板を装着することで実現します。

出力はデュアルリンク HD - S D I であり、次段のボードへチェインされてゆきます。

- 入力信号 : S D / H D - S D I (2 系統) L T C (SMPTE 12M) (1 系統)
- 入力信号コネクタ : B N C
- 出力信号数 : 2 c h
- 出力信号 : デュアルリンク HD - S D I 1 系統
- 出力信号コネクタ : B N C × 2
- チェイン信号入力 : H D - S D I (1080p デュアルリンク) B N C × 2



I / O - 2 T 基板

< 外部制御 >

- 仕様 : 100 / 10 BASE LANポート
- コネクタ : R J - 45 モジュラ

< 筐体 >

- メンテナンス : 前面より、基板、電源、ファンユニットの交換が可能
次項筐体構造参照
- 電源 : リダンダント方式
- 消費電力 : 約 190W
- 電源電圧 : A C 100 ~ 240V (50 / 60Hz)
- 外形寸法 : W430 × H88 × D510 mm
2Uラックマウントサイズ (突起を含まず)
- 質量 : 約 18kg
- 基板スロット数 : 4スロット

入出力基板を3枚、出力基板を1枚挿入したときに12chの映像を分割して任意の解像度で表示できます。(基本構成: MV-312HD)

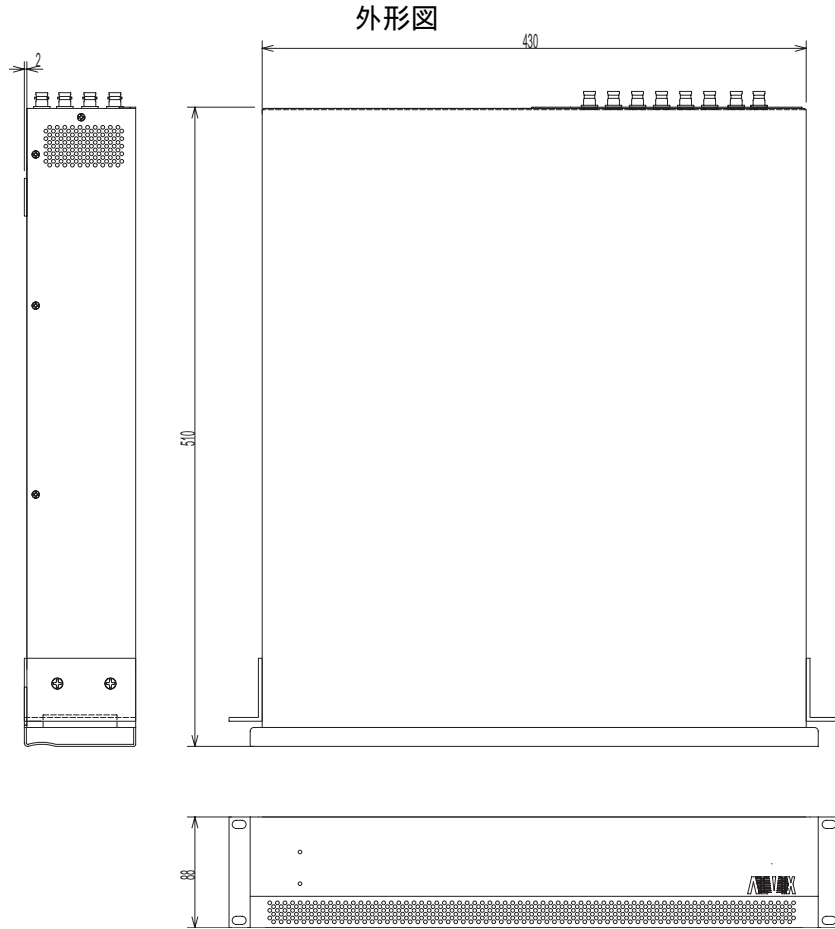
入力が12chをこえる場合は、筐体を追加し入出力ボードを増設します。

入出力ボード1枚 = 4ch単位で増設が可能で、入力数60chまで対応します。

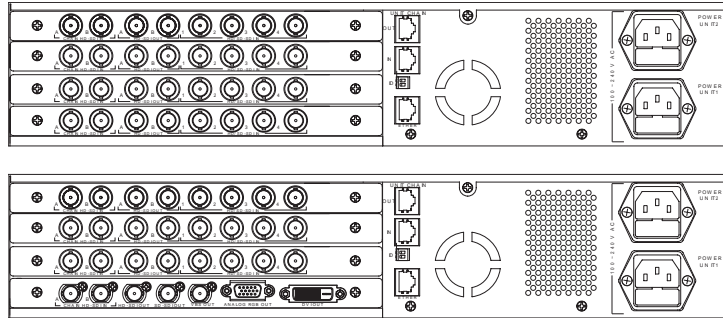
入力チャンネル数に対応した基板、筐体構成例

	12Ch	16Ch	20Ch	24Ch	26Ch	28Ch
筐体	1式	2式	2式	2式	2式	2式
I / O - 4 C	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚
I / O - 4	2枚	3枚	4枚	5枚	5枚	6枚
I / O - 2	---	---	---	---	1枚	---
OUT	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚
占有サイズ	2U	4U	4U	4U	4U	4U

外形

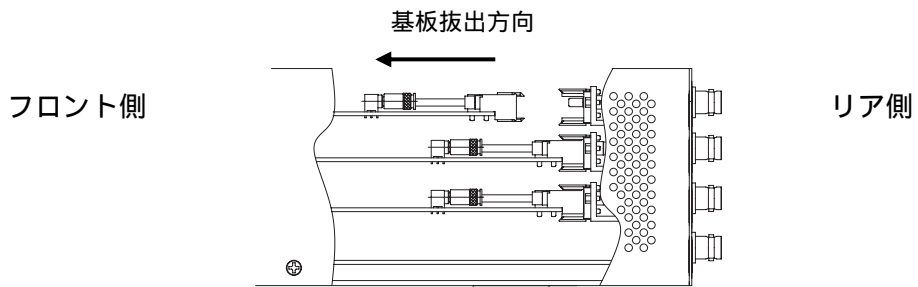


背面図



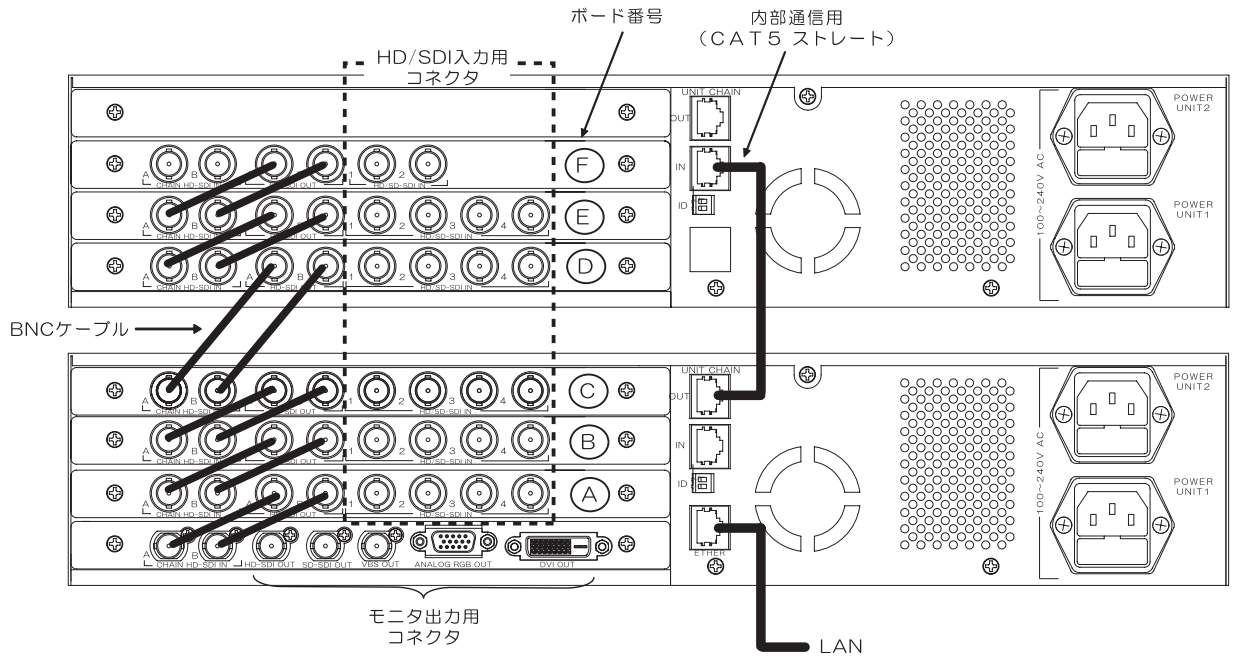
筐体構造

側面断面図

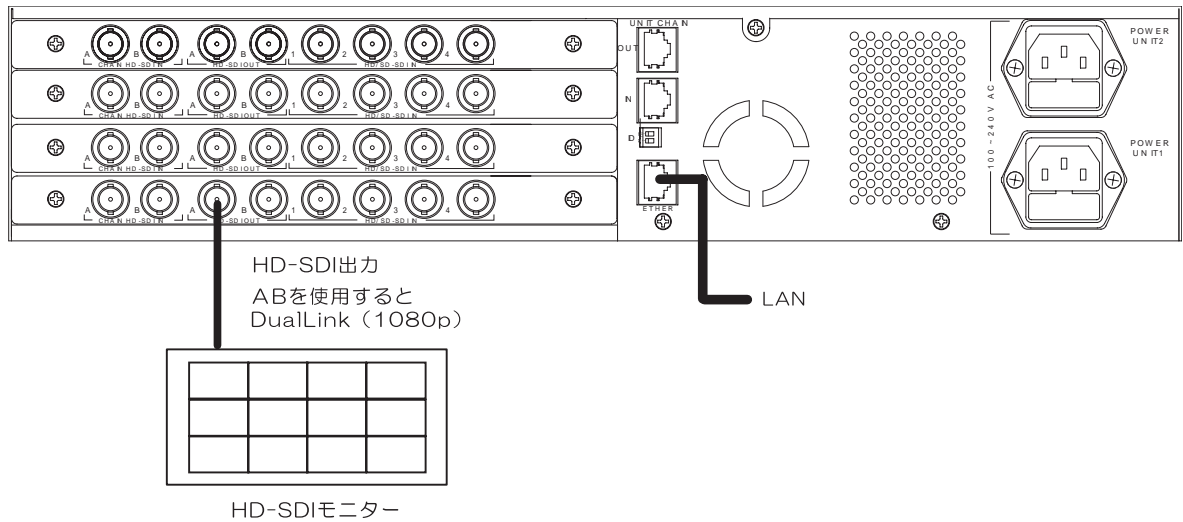


I / O - 4 C、I / O - 4、I / O - 2 基板は、リアに BNC を接続したままフロント側より基板の挿抜が可能です。
 O U T 基板はコネクタ接続を取り外してから、フロント側より基板の挿抜を行います。

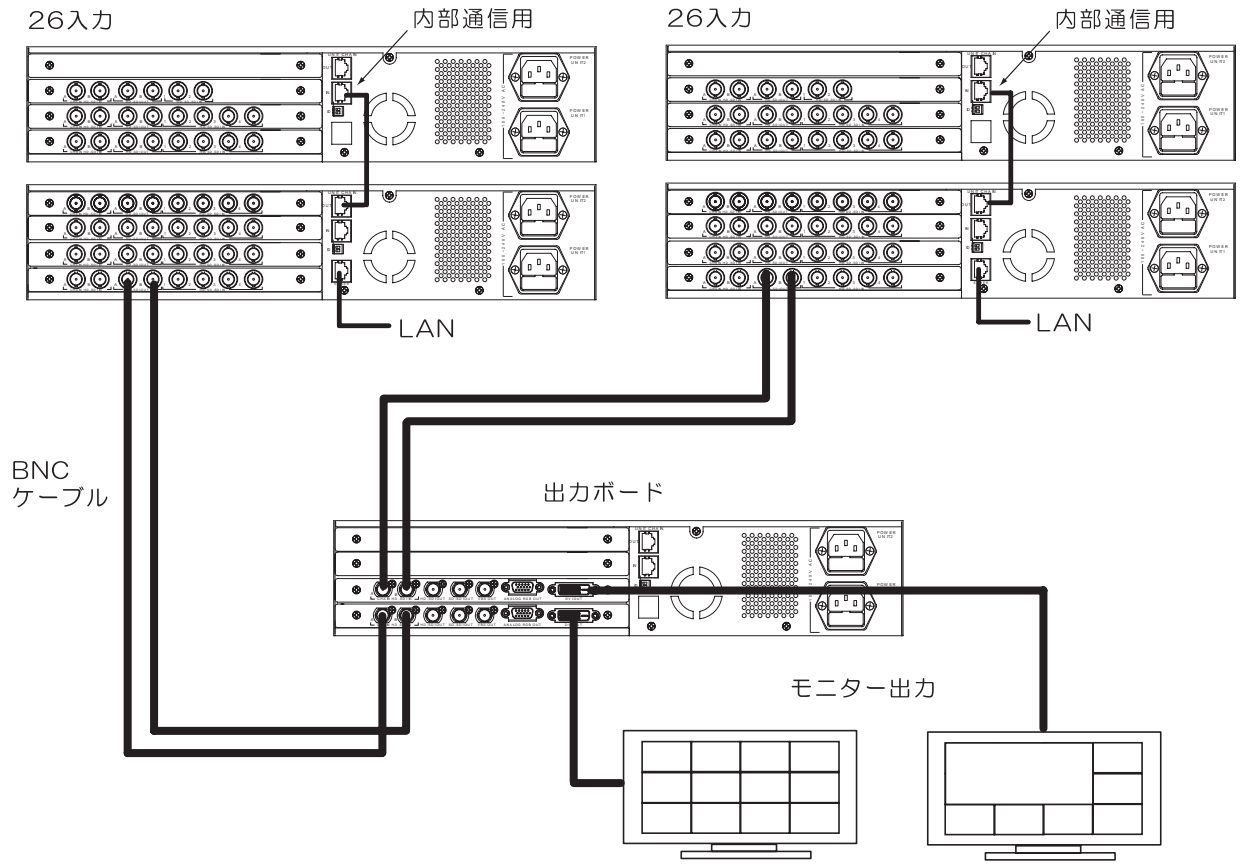
接続図（2 2 入力構成の場合）



構成例 1（出力基板なし構成）



構成例2 (26入力ボード筐体×2 + 出力ボード筐体×1)
 26入力ボード筐体と出力ボード筐体での、内部通信用接続は不要です。



仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。